

要 約 会 議 録

会 議 の 名 称	若者世代と市長との意見交換会	
開 催 日 時	令和5年10月22日（日） 10時開会・11時55分閉会	
開 催 場 所	市民交流センター 大交流室	
出 席 者	市長、副市長、教育長、総合政策部長、経営管理部長、 危機管理監、地域振興部長、生活環境部長、保健福祉部長、 こども未来部長、産業振興部長、都市建設部長、 都市建設部技監、教育次長 (事務局) 広報課	
参 加 人 数	22人	
会 議 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 出席者紹介 3. 市長あいさつ 4. フリートーク 5. 閉会 	
会 議 の 経 過 (議事の要旨)	別紙1のとおり	
会 議 資 料	若者世代と市長との意見交換会 会議資料	

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容
◎事務局	<p>1. 開会 【資料の説明】</p> <p>2. 出席者紹介 市長あいさつ 【市長・副市長・教育長の紹介】</p> <p>3. フリートーク（司会：高村フリーアナウンサー）</p>
◎参加者	<p>・保育や教育に関する費用を行政が負担することについて、栃木市はどのように考えているのかお聞きしたい。</p>
◎こども未来部長	<p>・3歳以上児の保育園、教育の無償化は全国一律的に行われていますが、それ以下の年代については、保育士の確保が難しく、現在は低所得者のみの無償化に留まっています。</p> <p>現在、国の方では、低年齢児、0、1、2歳児にスポットを当てた「こども誰でも通園制度」という事業を検討しており、栃木市では、今年モデル事業に手を挙げて、認定こども園さくらさんの夢風船、子育て支援センターで実施をしております。</p>
◎司会	<p>・実際に始まっているモデル事業も、もしかしたら市民全体に行き渡っていないのかもしれないと感じました。それに繋がるご意見としては、子育てサロンの情報が見にくい、子育て情報がまとまっている場所が見当たらない、情というご意見もありますが、こうなったらいいなというご意見、ありますか。</p>
◎参加者	<p>・今の若者世代には SNS が一番見やすいなと思います。SNS を活用して市の方から皆さんに配信すれば、もっと若者が見て、いろんなことに参加ができると思います。</p>
◎参加者	<p>・各担当課の担当者だと、市全体から情報が集まらないと思う。市長に情報は集まっているので、市長がブログを書き、それを動画にするのがいいのではないか。</p>
◎参加者	<p>・そもそも情報発信を取りに行くというよりも、自分が欲しい情報は、まず検索をすると思います。官民を区別してイベント</p>

	<p>を探しに行くっていうことはしないと思いますので、市役所だからという考え方で発信をしていくと、届かない。</p>
◎市長	<p>・行政が発信するよりも民間の皆さんが発信した方が、ずっと人が集まるので、民間の皆さんの発信の仕方を、もっと我々は学ばなければならないと思っております。</p> <p>情報発信の仕方をなんとかしなくてはならないと思っておりますので、どこまでできるかわかりませんが、考えてみたいと思います。</p>
◎司会	<p>・続いて、いただいた意見の中で、市のイベントや施設で託児対応をしてくれるところが少ないというものがありました。市にこんな協力をしてもらえるといいな、といったご意見ありませんか。</p>
◎参加者	<p>・色々な会議や意見交換の場に、託児所などの子供を預けられる場所が欲しいと思う。</p>
◎市長	<p>・やらなければならない政策の一つだと思っています。予約をして、その日に預けられるような環境を何とか整えたいと思っています。</p>
◎司会	<p>・その他、子育て環境というテーマで何か困っていること、こんなふうになったらいいなというお考えはありますか。</p>
◎参加者	<p>・子供食堂の活動をしていく中で、やはり子供食堂だけでは解決できない課題もたくさんあります。特に物価がかなり上がっていて、野菜なんかも高くなっているが、その一方でフードロスの問題もある。困る一歩手前、二歩手前の方たちも利用できるようになるといいなと思う。</p>
◎参加者	<p>・子育て支援は何処か大きなところが単独でやるというよりも、たくさんの団体が小さな活動を続けていけるといいかなと思っていますので、そういった小さな活動にも助成金があるといいなと思います。</p>
◎市長	<p>・おかげさまで、各地域で子供食堂が立ち上がっておりまして、よかったなと思っています。高齢者福祉のために寄付をとった話は多かったのですが、ここに来て、子育て支援に使ってほ</p>

<p>◎地域振興部長</p>	<p>しいということが広がってきて、社会全体でもやっぱり子供のために何とか自分たちも支える側になろうという雰囲気になってきていると感じています。</p> <p>必要なときに必要なものを届けられる仕組みを理解し、需要と供給のバランスをどのようにとっていくか、それが課題かなと思っています。</p> <p>・市民活動を応援する事業として夢フェアーレという制度がありますが、活動が自立できるようにということで支援を行っているものですので、支援の在り方についてのご意見として頂戴したいと思います。</p>
<p>◎参加者</p>	<p>・公立の小学校に子供が通っていますが、やはりお金がかかる。中学生になると制服とかもお金がかかるので、学用品や制服、自転車などお金がかかる部分の補助があると助かります。</p>
<p>◎教育次長</p>	<p>・保護者の皆様方の経済的な負担の軽減は、子育て支援をしていく上で大変重要なことだと考えていますので、現在栃木市では、経済的に困窮する世帯が対象にはなりますが、学用品などの費用を援助する、就学援助制度を設けています。</p> <p>また、子育て支援の一環として、給食費の無償化に取り組んでおり、現在小学6年生そして中学校3年生を対象に無償化を実施しております。</p>
<p>◎教育長</p>	<p>・社会の変化とともに色々なニーズがあり、色々な考えもあるので、校長会などの機会に、今回頂いたご意見を紹介させていただければと思っています。</p> <p>また制服については、私も校長時代に、制服が着られなくなったという同じような保護者のお悩みを聞いたことがあり、その学校では、制服や運動着等のリサイクルをやっていました。そういった取り組みが、いろんな学校で展開されるといいかなと思いました。ご意見ありがとうございました。</p>
<p>◎参加者</p>	<p>・毎年秋口に案内が来て、PTAで校舎の清掃をしますが、埃がすごくて、保護者だけでは取りきれない。半年に1回でも、掃除業者の人が入ってくれば、専門の方がやってくくださった方が危険も少ないですし、綺麗になるのかなと思います。</p>
<p>◎教育次長</p>	<p>・清掃活動は教育活動の一つであり、みんなで使うものを大事</p>

◎参加者	<p>にする、周りの友達と協力し合うといった観点から、実施していますが、生徒の数も減ってきていますので、教員業務支援員も活用することで、子どもたちにとって快適な教育環境を確保できるように努力していきたいと思います。</p> <p>・駅前セブンイレブンの交差点が、大雨が降ると池のようになる。その先の栃木女子高前のファミリーマートの交差点も水が溜まるような感じで、下水道なのか下水管なのかわかりませんが、池のようになる。そういった下水道や道路設備の管理はどういった形で取り組んでいるのでしょうか。</p>
◎参加者	<p>・私が住んでいるところは、大宮町の隣ですが、ヨークベニマルの西側に、西方から小山の方に向かう道を作っていただいているのですが、いつ開通するのか。</p>
◎都市建設部長	<p>・道路の水は道路側溝の方に流れていくので、側溝の流れが悪くなっていたり、短時間での大雨については流せるほどの設計になっていないところもあるかと思いますが、まずは側溝の清掃を実施していきながら、改善しなければいけないところは改善していきたいと考えております。</p> <p>もう一点、道路の開通についてのご質問ですが、今のヨークベニマルのところから、その先の県道栃木二宮線の新しくできたバイパスの方まで開通を予定していると伺っております。</p> <p>県が担当とはなりますが、気になる点や、危険な部分がありましたら、教えていただければと思います。</p>
◎参加者	<p>・市内で観光インバウンド体験の企画運営をしていますが、現地での環境整備。特に人材育成というのはあまりできていないと感じる。若いうちから、観光施設等でガイドの経験を積むなどの機会を増やしていくべきかと思います。</p>
◎参加者	<p>・私もイベントの方で関わっていますので、できれば栃木市が考えるその未来の観光事業を足並み揃えて、皆さんとやっていきたいという思いがあります。何か一つじゃなくても結構ですので、栃木市として考えている観光事業の柱は何なのか。</p>
◎産業振興部長	<p>・インバウンドについては岩船山の爆破体験の他にも、遊水地のスカイダイビングや出流山万願寺の滝行など市内各地がありますが、なかなかその次の段階、市内を周遊してもらいたい</p>

	<p>うところまではうまくいかないということで、「蔵ナビ」という観光資源データベースのシステムを使いまして、自分が行きたいところをいくつかピックアップして、オリジナルの観光ルートを作成するといったものを、一昨年からやっておりますので、引き続き、周知等に力を入れていきたいと思ひます。</p>
<p>◎参加者</p>	<p>・ずっと栃木市に住んでいて、伝統のある街並みがすごく魅力的と思ひていますが、若者が遊べるような大きな商業施設がないので、栃木市の伝統を崩さないような、大型商業施設を誘致していただけると、若者も集まり、雇用も生まれると思ひます。</p>
<p>◎産業振興部長</p>	<p>・現在、栃木インター産業団地の整備に取り組んでおります。インターに近いところで、企業や商業施設に来ていただけるよう、努力していきたいと思ひております。</p>
<p>◎参加者</p>	<p>・市のアンケートか何かで、メディカルセンターにも産科を創りたいという項目を見かけ、楽しみにはしていますが、先生や看護師さんにとっては、自分の専門外のやったことのない疾患が出るとなると、やはり不安になってしまうので、すごく難しいと思ひています。産科について、どのようにお考えなのか聞いてみたいと思ひます。</p>
<p>◎市長</p>	<p>・市内で生まれる子供の数は700人台まで減り、実は今1ヶ所ある産科でも対応できている状況になっております。現在は、事前に情報を検索して、市外を含めどこがいいかを選んで行く時代になってきていると感じておりますので、普通の分娩ではない、周産期医療の産科を作ればいいなと思ひています。</p>
<p>◎参加者</p>	<p>・大平と栃木の2ヶ所ある青少年ホームを統一して1ヶ所にまとめるとの話を聞いたことがあります。今まで通りに2箇所を存続していてももらいたい、という利用者さんからの話もあり、青少年ホームの存続に関して不安な部分があります。</p>
<p>◎産業振興部長</p>	<p>・施設がかなり古いということで、もちろん建て替えという考えもありますが、結論はまだでておりませんので、利用者の皆さんの意見を尊重しながら、今後検討を進めていきたいと思ひております。</p>
<p>◎事務局</p>	<p>それでは最後に一言お礼申し上げます。</p>

<p>◎市長</p> <p>閉会</p>	<p>我々、前半は地域に出向いて、市民の皆さんとのふれあいトークという形でお話をさせていただき、ご意見をいただいております。そちらは自治会長さんや団体等の会長さんなど、年代が上の方が多いのですが、今回は若い方たちにお越しいただいて、栃木市がこうなったらいいな、という率直な意見をお伺いすることができました。すぐにできるもの、そして時間がかかるものもあるかもしれませんが、いただいた御意見は、市政にできる限り反映させていければと思っております。</p> <p>是非これからも、まち作りのパートナーとして、皆様にはぜひご支援ご協力をいただきますようお願いをいたしまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。</p>
----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------